

クラスだより



目標

保育者や友だちとかがわってあそびながら、やりとりを楽しむ。

・もうすぐ進級を迎える子どもたち。動きが活発になり、表情も豊かになり、驚くほどの成長を感じます。ハイハイが出来たり、歩けるようになったり、自分の世界の広がりを心から喜んでいるようです。愛着関係で結ばれている大人以外にも、友だちの存在に気付いて、目が向き始めています。友だちの動き、持っている物などに関心がいっぱい。お友だちの真似をして遊んでいます。「お外にいかがか。」の保育者の声に、ドアを指差したり、「帽子かぶろうか。」と言うと自分の頭をポンポンしたりして、とてもうれしそうな子どもたち。お友だちに帽子を配ってあげるAちゃん。「おいでおいで。」と呼んでくれて、かわいいお姉さんをしてれています。

・一番月齢の小さいIちゃんは、最近離乳食をたくさん食べれるようになってきました。手に持てる食材を持たせてあげると、とても嬉しそうな顔をして食べます。又、保育者のお話や歌にも目を見はりじっと見ていたり、友だちの遊んでいる中にも寄って行って興味津々です。



りす組

目標

進級するという期待感を持ちながら、身のまわりのことを自分から進んで行おうとする。

- ・2月に入り、水疱瘡が流行り欠席の子が多く、さみしい日が続き、欠席の子の事を「OOちゃん、おらんなあ」と気にする姿がありました。日々の生活の中で、お友だちの存在は大きくなっています。遊びの中でも、“一緒に遊びたい。”“OOちゃんと”という思いがあります。受け入れてもらえるとき、受け入れてもらえないときもありますが、こうした中から、人との関わりを学んでいるように思います。

室内はもちろん、散歩や園庭遊びでも、お友だちと同じ遊びをして一緒に楽しむ事を喜ぶ姿が増えました。

- ・2月3日の節分にむけて、歌をうたったり、絵本を読んできました。身ぶり、手ぶりを加えて、とてもかわいらしく歌っていましたよ。節分の日には、ピンクの鬼が登場。子どもたちは様々な表情を見せていました。新聞紙で作った豆をなかなかまけず、ただただ釘づけになっている子もいましたが、「おには一そと。ふくは一うち。」とやっつけてくれる子もいました。

3月3日には、ひなまつり。今は、みんなでうたを歌ったり、製作でおひなさま作りを楽しんでいます。



クラスだより



目標

**異年齢の友達と関わりをもって遊ぶ。
新しい環境に慣れる。**

一年の大イベントである、お遊戯会も無事に終わりました。今年度は、男の子と女の子にわかれてダンスの発表となりましたが、本番までお家の人に見てもらうのを楽しみにして、みんな一生懸命練習に取り組んできました。最初は、音楽に合わせて楽しく体を動かし、振り付けを覚える事から始め、慣れてくると手をピンと伸ばしたりと、大きく表現出来るようになってきました。当日は初めての大きな舞台に驚き、泣いてしまった子、最後まで堂々と踊れた子、又泣きながらも頑張って踊れた子と様々な姿がありました。保護者の方には温かく見守って頂き、お子さんの姿をまるごと受け止め、ギュッと抱きしめてあげる姿に、私達保育士も胸が熱くなりました。今回のお遊戯会で子ども達なりに、緊張感や満足感を感じ、みんな大きく成長した事だと思います。又こんな感動を、私達に与えてくれた子ども達のかっこよさと改めて感じました。来年度は、異年齢児クラスでの発表となりますので、益々たくましい子ども達の姿が見られると思います。

(移行に向けて)

月日が経つのは本当に早く、後一ヶ月で、年少組へ進級となりました。今は異年齢児クラスに少しずつ慣れていけるように、毎日少人数ずつ、トトロ・ピノキオ組で生活させてもらう時間をつくっています。最初は、広い部屋に沢山のお友達がいて圧倒されてしまう子もいましたが、お兄ちゃんお姉ちゃんが優しく関わってくれるので、安心して過ごせるようになってきました。新しいクラスでは、分からない事もいっぱいですが、それ以上に新鮮な気持ちでいっぱいな子ども達は、異年齢児クラスで過ごした後は、得意気に保育士にお話をしてくれます。うさぎ組での生活も残り少なくなってきましたが、1つ大きくなって進級するという喜びを子ども達にも伝えていきたいと思っています。



クラスだより



目標

**進級する事に期待を持って園生活を十分に楽しむ
いろいろな活動に意欲的に取り組み、友だちとの関わりを深める**

3 歳児

お遊戯会、ありがとうございました。緊張した子もいたと思いますが、どの子もステージの上では真剣な表情をしたり、ニコニコ笑顔でお遊戯会を楽しむことができたのではないかと思います。ピノキオさんとダンス交換をすると「やりたい！」と自分から参加をしてお遊戯会の余韻を楽しむ姿がありました。たくさんのお客さんに見てもらおう中で、ダンスや劇ができたことは、子どもたちにとって大きな自信になったようで、自分で紙飛行機をおったり、あやとりに挑戦したりと新しい遊びに挑戦する姿がでてきました。やりきった！と自信にあふれた顔を見ると成長したな…とあらためて感じる事ができました。

また、「次は年中さん！」と一つ大きくなることを楽しみにし、うさぎさんがお部屋に遊びに来ると、おもちゃを貸してあげたり、「ここ座る？」と声をかけてあげる姿も出てきました。今まで年中さん、ライオンさんに優しくしてもらったからこそ、こういった姿がでてくるのかな？と嬉しく思いました。3月にはお部屋も変わり、うさぎさんが新しくトトロにきます。今まで優しくしてもらったようにこれからも下の子にも優しくできるようになっていって欲しいなと思います。



4 歳児

長い時間をかけて取り組んできたお遊戯会が終わりました。本番では緊張している姿もありましたがどの子も練習の成果が出ていたと思います。劇ではセリフも忘れず前を向いて堂々と演じる姿に感動しました。何よりも年少の子が3段のとび箱を跳べると喜び合う姿が嬉しかったです。ダンスも今まで練習してきた腕や足を伸ばすという事ができてとても楽しそうに踊っていました。フラフープでは練習では何回も下に落としていたのですが、本番では1度も落とさず最後まで踊りきる姿に涙が出そうになりました。また「フラフープ1回も落とさへんだ」とニコニコの笑顔で帰ってきたとき、子どもたちの得意なことを披露できる場になって自信にもつながったんだなと嬉しく思いました。歌も毎日のように練習してきました。その成果がでており大きな口を開けて、上手に歌えていました。お遊戯会が終わり、子どもたちからやりきった達成感、自信が見られ成長も感じる事ができました。またお遊戯会の思い出として絵を描いたり、隣のクラスのダンスを踊って余韻を楽しんでいます。

今ライオン組が就学前保育のためクラスから抜け年中さんがクラスでは最年長となりました。うさぎ組が移行に向けて少しずつお部屋に遊びにきています。そこで気にかけてみているのが年中さん。自然と優しく接したり、見守ったり、と大きい子の姿に成長し始めています。きっと今まで経験してきた事を返しているのでしょうね。

残り1ヶ月になりました。進級する喜びを高め、思い出作りをしていきたいと思います。



クラスだより



目標

年が一つ大きくなるということを自覚しお兄ちゃんお姉ちゃんになれる、嬉しさ、楽しさ、大変さを知る。冬から春にかけての自然事象に興味や関心をもつ。

3歳児

お遊戯会に参加していただきありがとうございました。子どもたちは、多くのお客さんを前に緊張したと思いますが、どの子もニコニコと笑顔で一生懸命取り組んでくれました。当日の頑張っている様子を見て、今までの練習してきた姿を思い出しました。また、子どもたちの堂々としている姿から成長を感じ嬉しく思いました。

お遊戯会後には、思い出に残っている場面を絵で表現したり皆の前でお遊戯会の感想を発表したりする時間を作りました。「楽しかった!」といきいきとお遊戯会の思い出を話す子がほとんどで子どもたちはお遊戯会をやり遂げたことによって大きな自信になったようです。

折り紙で遊ぶ子が増えてきました。初めの頃は「作って!」と言いきていた子ども自分達で折り方の本を見ながら折れるようになってきました。「③番まで折れたよ!」「自分でできた!」など嬉しそうに見せに来てくれます。今では、飛行機やクワガタなど上手に自分で折れるようになった子どもおり感心させられます。また、折れない子に優しく教えてあげたり手伝ってあげたりしながら友達との関わりを深めることにも繋がっています。

先日、うさぎ組さんがお部屋に遊びに来てくれました。今まではクラスで年少さんは一番年下だったのですが、自分達より小さい子が来るとコーナーで一緒に遊んであげたり絵本を読んであげたり、また、散歩に行く時は手を繋いであげたりととても優しく接している様子を見て頼もしく感じさせられました。今まで、年長・年中さんに優しく接してもらっていたので自分達もうさぎ組さんに優しく接することができたのかと思います。もうすぐ、うさぎ組さんの移行も始まりますが、お兄ちゃん・お姉ちゃんらしく優しく接してほしいと思います。大きくなることに期待や喜びを味わいながらこれからも楽しく過ごせていけたらいいなと思います。



4歳児

2月10日は子ども達が楽しみにしていた「おゆうぎ会」がありました。

新年が明けてから、ずっと頑張って練習してきた、歌やダンス、劇は本番で本当に堂々と表現することが出来ていました。毎日毎日練習に取り組んだからこそ、当日あのような素晴らしいお遊戯会になったのだと思います。どの子もとても輝いており、誰一人として欠けてはならない存在だと改めて感じました。

本当によく頑張ったと思います。お遊戯会が終わってから子ども達一人ひとりが成長し、自信が感じられます。それは、自分自身が努力したからこそ得られたものだと思います。子ども達は仲間と協力する事、一つのことをやり遂げるという大切なことを学びました。そして、もう少しすると皆一つ大きい年長になります。そういう意識があるのか、日々の生活の中で行動や言動が少しずつですが変わってきました。2月後半からはライオンも別々に生活するようになり、うさぎ組の子ども時々ピノキオのお部屋で活動を共にする機会が増えてきました。24日の日には一緒に遊んだり、給食を食べたりと、お互いに刺激し合っています。

私達も良き保育士モデルになれるように丁寧に接していきたいと思います。

これからどんどん暖かくなってくるので、外で沢山身体を動かして遊びたいと思います。

クラスだより



目標

**小学校生活を知り、新しく始まる生活に期待や楽しみを持って毎日を過ごす。
園生活を振り返り、クラスのつながりを感じたり一緒に遊ぶ友達との心のつながりを感じる。**

2月10日にお遊戯会がありました。

練習から、どの子も一生懸命取り組み、毎日の積み重ねのなかで、年長児が年下を引っ張っていこうとするところも見られ、とても頼もしい姿を見ることもありました。劇やダンス、歌唱というたくさんのお出番があるにも関わらず、練習のたびに、楽しく真剣に取り組む姿勢は、私自身も「がんばらなくちゃ！」と思うほどでした。

本番では、練習以上の姿をお家の人の前で発揮することができたと思います。練習のときのように、年少児を気にかけてくれたり、みんなを引っ張っていこうとしてくれたり・・・あんな大きな舞台で堂々と表現できた子どもの力に感動しました。

お遊戯会が終わった後の子どもたちの表情も、達成感でいっぱいでした。

こうやって一つの大きな壁を乗り越えて、また一つ大きく成長し自信をつけていくんだなと思います。おうちの方の協力もあって無事に終わることができました。とても心に残る、いいお遊戯会だったと思います。ありがとうございました。

お遊戯会も終わり、いよいよ就学前に向けての保育が始まりました。

子どもたちには小学校の大まかな生活が知れるようにしようと「小学校ごっこ」として楽しく取り組んでいけたらと思っています。子どもたちも「小学校」という響きが新鮮な様子で、新しく始まる生活に期待や楽しみを抱いているようです。子どもたちに負担がかからない程度に、やっていこうと思います。また子どもたちに、どんなことをしたのか話を聞いてあげてください。

